

平成27年 8月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート 平成27年8月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

さて、今年の八戸三社大祭も豪華絢爛に開催され、先日4日の後夜祭で幕を閉じました。今年の観客数は、昨年を5万5千人上回る96万人と大変な盛況でした。八戸に来なければ感じるできない感動を、首都圏でももっとPRしていけたらと思います。

夏の全国高校野球では、当県代表の三沢商業高校は惜しくも初戦突破はなりませんでしたが（花咲徳栄高校(埼玉)戦、3対15）、全力プレーでよく頑張りました。

甲子園と同様に、日々暑い夏は続っていますが、皆様体調を崩されないようどうかご自愛ください。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸 8月号 レポート

平成27年7月の八戸市内での出来事や、八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

No.	項目
1	八戸、米タコマ両港が経済貿易協定を更新
2	八戸市民病院 「自治体立優良病院会長表彰」を受賞
3	八戸市議会 タブレット端末導入へ
4	屋内スケート場 2019年完成目指す

【産業】

No.	項目
5	八戸港上半期コンテナ取扱量 過去最高の2万8千本超へ
6	多摩川精機、八戸に新工場開設 2017年操業
7	東北グリーンターミナル 飼料用米の取り扱いを試験的に開始
8	八戸港 スルメイカ漁 解禁
9	中国ネット通販参入のオフト（東京）が八戸市に配送拠点

【地域】

No.	項目
10	八戸三社大祭 昨年の暴走事故を受け霽（おがみ）神社が馬使わず
11	南郷地区のフルベリーが収穫期、甘酸っぱい実 鈴なり
12	南部せんべいパッケージ 市民の手で新しいデザインへ
13	「県下地域警察官職務質問競技会」 八戸署の久保巡查・杉山巡查ペアが優勝！
14	武輪水産 八戸前沖さぼとカフの甘酢漬け「八戸あわせ」発売
15	八戸せんべい汁研究所 市立西園小で出前講座開催
16	八幡馬の絵付けを施した“かつお節削り器”新発売
17	種差海岸 朝ヨガイイベント 人気
18	甲種危険物取扱者試験 八戸水産高生が3人同時に合格
19	経済団体「アイビー倶楽部」 芸人のヒロシさん招き講演会開催
20	常規寺 県外者や高齢者向けに“インターネットでお経を生中継”


【文化・スポーツ】

No.	項目
21	J1ベガルタ仙台に 差波選手（八戸出身）が内定
22	地球深部探査船「ちきゅう」が八戸沖で世界最深微生物発見
23	「南郷サマージャズフェスティバル2015」開催 ～名曲に酔いしれ～
24	八戸市指定文化財の山車人形3体 修復を終え展示

【県内】


No.	項目
25	青森県人口131万人割れ 半年で1万人減
26	八戸・久慈・二戸 観光PRへ「ユーチューブ」活用

【 行政 】

No.	レポート
1	<p>八戸、米タコマ両港が経済貿易協定を更新</p> <p>7月1日、八戸市と青森県は米国ワシントン州タコマ市で、八戸とタコマ両港の経済貿易協定を更新した。協定は1995年に結び、5年ごとに更新しており、締結から20周年の節目となった今回もこれまでの内容を引き継ぎ、航路の開設や貿易の促進、情報交換、友好を図ることの4項目を明記した。調印式後のレセプションには、タコマ港や八戸市の姉妹都市・フェデラルウェイ市の関係者ら約100人が集まり、県産農産物の加工品や地酒が振る舞われた。</p> 
2	<p>八戸市民病院 「自治体立優良病院会長表彰」を受賞</p> <p>健全な病院経営と地域医療への貢献などが評価され、八戸市立市民病院は、「2015年度自治体立優良病院会長表彰」を初めて受けた。過去5年以上黒字決算や、地域医療へ重要な役割を果たしていることなどを要件に、全国自治体病院開設者協議会と全国自治体病院協議会が表彰する。市民病院では、2009～13年度の5年連続黒字で、13年度の経常利益は約5億2千万円。2014年度も黒字決算の見込みという。また、充実した救急体制や研修医の指導、「地域がん診療連携病院」や「エイズ治療拠点病院」に指定され、各機能で地域の中核的役割を担っていることなども評価された。</p>
3	<p>八戸市議会 タブレット端末導入へ</p> <p>八戸市議会は、青森県内初となるタブレット端末を導入する。導入は議会改革の一環で、市が全議員に「iPad Air2」を貸与する。議場内でもタブレットで資料を閲覧できるようにするため、紙の資料は段階的に廃止し、FAXで行っていた事務局からの日程連絡も、メールに切り替える。年間約16万枚の紙資源を節約し、事務局の負担軽減にもなるという。9月から本格導入する方針。</p>
4	<p>屋内スケート場 2019年完成目指す</p> <p>八戸市が長根公園に整備する屋内スケート場の完成スケジュールの意向について、小林眞市長は太田昭宏国交相への非公開の要望で伝え、その後の取材で「2019年中に完成させ、東京五輪が開かれる翌20年の2月ごろにスピードスケートの国際大会を誘致したい」との意向を明らかにした。屋内スケート場は鉄筋コンクリート3階建てで、建設費は概算112億7千万円。市は5月に基本設計を公表しており、今後は実施設計、着工、建設と段階が進む。国際大会が実現すれば、屋内スケート場の完成を祝うこけら落としの意味合いを持ちそうである。</p>

【 産業 】

No.	レポート
5	<p>八戸港上半期コンテナ取扱量 過去最高の2万8千本超へ</p> <p>八戸港の2015年上半期のコンテナ取扱量が、速報値で前年同期を約2割上回り、過去最高の2万8千本超に達する見込みであることが分かった。特に目立つのは実入りコンテナで、輸入と国内からの移入が3割以上増えている。今後の見通しについて、八戸港湾運送は「市内では港湾部の基幹産業の生産量が戻ってきており、一時的な要因を除いたとしても、後半も期待できるのではないか」との認識を示した。</p>

6	<p>多摩川精機、八戸に新工場開設 2017年操業</p> <p>自動車用の制御センサーなどを製造する多摩川精機は7月10日、八戸市北インター工業団地に市内2か所目となる新工場を開設すると発表した。5月に撤退したシチズンセイミツ八戸の工場跡地を既に取得。新たに整備するのは「前山第二工場」(仮称)で、自動車、産業機械、医療機器向けの各種センサーや、その部品などを製造する。南部町の工場でも生産しているが、国内外の需要の伸びを受けて増産する。2017年11月の操業、35人の新規雇用を予定。</p>
7	<p>東北グレンターミナル 飼料用米の取り扱いを試験的に開始</p> <p>八戸港にある飼料コンビナートの中核企業で、東北最大の穀物サイロを運営する東北グレンターミナル(八戸市)は、2015年度から飼料用米の取り扱いを試験的に始めた。コメ余りや農業政策の見直しに伴う主食用米からの転換により、青森県内の飼料用米の生産量は近年増えつつある。14年産は約1万6千トンで、15年産は2倍以上の3万4400トンが見込まれる。大規模な流通ルートが確立されれば、生産のさらなる後押しとなりそうだ。</p> 
8	<p>八戸港 スルメイカ漁 解禁</p> <p>大中型巻き網船団による八戸近海でのスルメイカ漁が7月20日に解禁され、八戸港を拠点とした操業が本格化している。21日には茨城県、福島県などの船団15カ統が、八戸市第一魚市場にスルメイカやサバ計約1184トンの水揚げ。岸壁は、魚を荷台に積み込むトラックで混み合い、ハマが活気づいた。船関係者は「イカの捕れ方は、初日にしてはまずまず。ことしは不調だった昨年よりも、いい成果を出せるのではないかと話している。</p>
9	<p>中国ネット通販参入のオプト(東京)が八戸市に配送拠点</p> <p>インターネット広告大手のオプト(東京)が、8月に中国でのネット通信販売事業への参入するのに合わせ、日本から商品を送る際の配送拠点を八戸市に置く。配送業務は、市内でITを活用した物流サービスを手掛けるサラウンド(東京)が担う。約50兆円規模という中国のネット通販市場は、さらなる成長が見込まれており、北奥羽地方の企業にとっても海外での販路拡大が期待される。</p>

【 地域 】


No.	レポート
10	<p>八戸三社大祭 昨年の暴走事故を受け霽(おがみ)神社が馬使わず</p> <p>今年の八戸三社大祭は「お通り」と「お還り」の神社行列が様変わりする見通しである。昨年のお還りで発生した馬の暴走事故を受け、行列に参加する霽(おがみ)神社と祭り主催者の大祭運営委員会が馬を登場させないと決めた。従来は馬に乗っていた八戸市長らは歩いて行列の先頭を進む。時代絵巻の演出を担っていた馬が一部消えることに、市民からは「祭りの風景が寂しくなる」といった声もあるが、運営委員会は「何かあったときに対応が難しい」と、安全対策強化のため、苦渋の決断だったことを強調する。</p>
11	<p>南郷地区のブルーベリーが収穫期、甘酸っぱい実 鈴なり</p> <p>市南郷地区で、特産のブルーベリーが収穫期を迎えた。7月7日は市南郷観光農業振興会による観光農園の開園セレモニーが開かれ、招待された市内の保育園児が、甘酸っぱい旬の味覚を頬張った。森観光農園で開かれたセレモニーでは、会長が「南郷のブルーベリーは30年以上の歴史があり、全国的にも先進地。今年は生育が早いので、早めに足を運んでもらえれば」とPRした。</p>

12	<p>南部せんべいパッケージ 市民の手で新しいデザインへ</p> <p>南部せんべいのさらなる魅力を創出しようと、市民の手で南部せんべいのパッケージを作る「南部せんべいパッケージデザインプロジェクト」のワークショップが、十三日町の八戸ニューポートで開かれた。このプロジェクトは八戸ニューポートと市民ボランティア集団「まちぐみ」が主催。市民がデザインに親しむとともに、南部せんべい業界に新たな風を吹き込みたい考えである。</p>
13	<p>「県下地域警察官職務質問競技会」 八戸署の久保巡查・杉山巡查ペアが優勝!</p> <p>青森市の青森県警察学校で開かれた「県下地域警察官職務質問競技会」で、八戸警察署地域課の久保貴志巡查(29)と、同署湊白銀交番の杉山綾子巡查(26)が見事優勝した。競技会は毎年開かれ、2人一組で県内18の警察署から出場。職務質問の状況は事前に知らされず、15分以内で問題を解決することが求められる。今回は、車内に刃渡り20センチの刃物を積んでいる銃刀法違反の容疑者の摘発がテーマ。審査では◇不審点を追及できたか◇声を掛ける署員が高圧的な態度を取っていないか◇もう一人の署員の立ち位置◇問合いの取り方などが基準となった。同署は一昨年以来の優勝となった。</p>
14	<p>武輪水産 八戸前沖さばとカブの甘酢漬け「八戸あわせ」発売</p> <p>武輪水産(八戸市)は、八戸前沖さばの締めさばとカブの甘酢漬け「八戸あわせ」を発売した。脂乗りの良い八戸前沖さばやニンジン、八戸近郊で契約栽培したカブで挟み、調味酢で漬け込んだ。サバの味わいと、みずみずしいカブの歯応えを楽しめる。ユートリーで取扱中。ネット販売も行っている。希望小売価格は864円(税込み)。</p> 
15	<p>八戸せんべい汁研究所 市立西園小で出前講座開催</p> <p>7月16日に八戸せんべい汁研究所が、八戸市立西園小で「まちおこし出前講座」を開いた。講座は、生まれ育った地域の魅力を知ってもらおうと、汁研のメンバーが市内の小学校を訪問する形で昨年より実施されており、この日の講座が本年度の1回目。南部煎餅の成り立ちや種類など、豆知識を解説した後、中島美華副所長の進行で「八戸で自慢できるところ」を子どもたちが順番に発表。イカや種差海岸、朝市などさまざまな視点の意見を挙げていた。最後は「好きだDear! 八戸せんべい汁」の楽曲に合わせて、参加者全員でダンスを披露した。</p>
16	<p>八幡馬の絵付けを施した「かつお節削り器」新発売</p> <p>削り節製造などを手掛ける静岡屋(八戸市)と、民芸品「八幡馬」の製造を手掛ける八幡馬(八戸市)は、八幡馬の絵付けが施されたかつお節削り器を共同で製作、市内で販売を開始した。本体は長さ25センチ、高さ13センチ、幅10センチで木製。表面には、南部藩が使っていた家紋とウミネコ、菊が装飾され、黒と赤を基調とした2種類がある。本枯かつお節とセットで販売される。1セット1万6500円(税抜き)。はっちの「カネイリミュージアムショップ」などで販売している。</p> 
17	<p>種差海岸 朝ヨガイベント 人気</p> <p>八戸観光コンベンション協会と、種差周辺住民を中心とした有志団体「種差あねっこ」が主催している、種差海岸天然芝生地で開かれているヨガのイベントが人気になっている。波の音を聞きながらヨガを体験できるのに加え、終了後は健康に配慮した朝食やスムージーも楽しめるなどの仕組みが、女性を中心に遠方からの参加者やリピーターを増やしている。朝ヨガの参加料は1回500円で、土曜日午前7時に現地に集合する。9月26日まで(8月15日を除く)実施。</p> 

18	<p>甲種危険物取扱者試験 八戸水産高生が3人同時に合格</p> <p>県立八戸水産高の海洋生産科3年青木祐太郎君、同科3年金入拓実君、水産工学科3年長宝宙君の3人が、危険物取扱者試験の中で最も難易度の高い甲種試験に合格した。全種類の危険物の取り扱いが可能な甲種の試験は、合格率は3割程度と低い。長宝君は1回目、青木君と金入君は2回目の挑戦での合格となった。同一試験日に1校から複数の合格者が出るのは県内初。</p>
19	<p>経済団体「アイピー倶楽部」 芸人のヒロシさん招き講演会開催</p> <p>八戸市の経済団体「アイピー倶楽部」が、お笑い芸人のヒロシさんを講師に招き、発足20周年記念講演会を7月29日に八戸プラザアーバンホールで開催した。ヒロシさんは身の回りの出来事を自虐的に話すネタで大人気となったものの、仕事が一気に減ったため「一発屋」と呼ばれた。浮き沈みの激しい芸能生活の経験が、企業経営に通じると声を掛けた。ヒロシさんは「気持ちだけは上を見ていた。いつか上ってやるという気持ちがなくなったら終わり」と熱く語っていた。</p>
20	<p>常現寺 県外者や高齢者向けに「インターネットでお経を生中継」</p> <p>小中野の常現寺は、県外に居住して現地での法要に参加できない人のために、インターネットでお経を上げる映像を生中継する取り組みを行った。「お墓総合サポートサービス」が法要の様子をスマートフォンで撮影し、「Ustream」(ユーストリーム)にリアルタイムで流した。初の試みで、高山住職は「ネットを活用し、新しい時代の檀家さんと菩提寺の関係をつくり上げていきたい。八戸市内にいてもお寺に来られない高齢者の方にもこういったサービスを提供していければ」と話している。</p>

【文化・スポーツ】

No.	レポート
21	<p>J1ベガルタ仙台に 差波選手(八戸出身)が内定</p> <p>サッカーJ1のベガルタ仙台は、7月3日、八戸市出身のMF差波優人選手の2016年シーズンからの加入を内定したと発表した。青森県サッカー協会によると、市出身のJリーグ選手は初めて。差波選手は「小さいころからの夢だったプロサッカー選手になれてうれしい。これまでお世話になった人に恩返しできるよう、プレーで責任を果たしたい」と話した。</p>
22	<p>地球深部探査船「ちきゅう」が八戸沖で世界最深微生物発見</p> <p>海洋研究開発機構は、地球深部探査船「ちきゅう」が八戸沖で実施した掘削調査で得た海底下の地層サンプルから、微生物群を発見したと発表した。最も深いのは海底下約2500メートルで、微生物の確認例としては世界最深。微生物は森林土壌に由来し、2千万年以上前の石灰層で太古の生態系を維持してきたとみられる。同機構は「“海底下の森”を確認し、世界で初めて生命圏の限界域に到達した」と成果をアピールしている。</p>
23	<p>「南郷サマージャズフェスティバル2015」開催 ～名曲に酔いしれ～</p> <p>東北最大級の野外ジャズイベント「南郷サマージャズフェスティバル2015」が7月25日、南郷地区のカッコウの森エコランドで開かれた。1970～80年代に一世を風靡したポビー・コールドウェルさんら5組が熱演し、全国から集まった約2千人が軽快な音色に酔いしれた。ポビーさんは「ステイ・ウィズ・ミー」など往年の名曲を次々に披露。ライトアップされたステージでソウルフルな歌声を響かせた。</p>

24	<p>八戸市指定文化財の山車人形3体 修復を終え展示</p> <p>八戸市指定文化財の山車人形3体が3年間の修復期間を終え、7月25日から市博物館で展示されている。3体の山車人形は「為朝と鳴人」。同館によると、この人形は1831年、八戸藩の商人だった西町屋が江戸京橋・鈴木町(現東京都中央区京橋)の人形細工人に金50両(約1600万円)で制作を依頼したもの。長年、同館で展示していたが、塗装が剥がれ、衣装などが欠損していた。江戸時代に制作された勇ましい武将などの人形が、訪れる市民らを魅了している。8月16日まで。</p> 
----	--

【 県 内 】

No.	レポート
25	<p>青森県人口131万人割れ 半年で1万人減</p> <p>青森県の推計人口が6月1日現在で前月比750人減の130万9993人となり、131万人を割り込んだことが県のまとめで分かった。昨年12月時点で132万人台だったが、わずか半年で約1万人が減少した計算となる。死亡者数から出生者数を差し引いた自然減の拡大傾向が続いており、県民の健康長寿と出生率向上が人口減少克服の鍵を握る現状が浮き彫りになっている。</p>
26	<p>八戸・久慈・二戸 観光PRへ「ユーチューブ」活用</p> <p>八戸、久慈、二戸の3圏域は本年度、観光PRのため、アニメ動画を作成し、インターネットの動画投稿サイト「ユーチューブ」で発信する。久慈市が4月から始めている番組「市長くんと副市長くん」を参考とし、3市の市長が登場する予定で、新たな手段での情報発信に挑戦する。PR動画は、数分間の番組を4～5回制作する見通しで、配信開始は9月を予定している。</p>